

WEB 基礎



Web 制作をマスターするには HTML と CSS の 2 つの言語を覚える必要があります。言語といっても決して難しいものではありません。このテキストを理解することで、実作業でも Web ページができるようになります。分厚い辞書 1 冊分の知識をこのテキストに集約しています。HTML で文章構造を定義し、CSS で装飾部分を指定する。ややこしそうですが、それぞれひとつずつ押さえれば、きっとできるようになります。Lets! HTML & CSS

目次

HTML	3
HTML とは	3
性格付け	4
まずは骨格を作る <HTML> <HEAD> <BODY>	5
タイトルを付ける <TITLE>	7
見出しを付ける <H1>	8
本文を書く <p>	10
リストを書く	14
番号の無いリスト 	15
番号のついたリスト 	18
定義型リスト <DL> <DT> <DD>	19
画像を入れる 	26
ハイパーリンクを付ける <A>	28
パスについて	29
表を書く	35
グループ化	38
コメント	38
CSS	39
CSS とは	39
文字の色	39
文字のスタイル	52
行の高さを指定する	60
文字の間隔について	61
文字の字下げ(インデント)を指定する	62
ボックスモデルについて	63
行内要素及び表のセルの垂直方向の位置	68
float について	69
グループ化	76
子、孫セレクタ	76
練習問題	77
その他のよく使われる CSS	78
ショートハンド	80
コメント	81
実体参照	81

総合問題	82
総合問題 1	82
総合問題 2	83
総合問題 3	85
総合問題 4	86
総合問題 5	87
総合問題 6	88
総合問題 7	89
総合問題【解答例】	90

HTML

HTML とは

HTML とは Hyper Text Markup Language の略で、みなさんがご覧になっている携帯ページや YAHOO、Google も含め、ホームページのほぼ全てが HTML という言語で書かれています。HTML を一言で言うならば、

文章の論理情報のある単位で性格付けする文章です。

かつては、様々な独自使用の HTML が氾濫し、ブラウザによって表示されたりされなかったりといった具合に、非常に困った状態にありました(今も完全には解決していませんがとくに IE6...)。現在では、W3C (World Wide Web Consortiums) が勧告を出し、世界中がそれに従うように推奨されています。つまり、W3C の定めた HTML を使えば、より多くのブラウザで正しく表示されるページを作ったことになります。

現在、HTML には HTML4.0 と XHTML という 2 種類の規格が存在していますが、XHTML のほうがより記述ルールが厳密で、特に文書構造と装飾の分離が厳格です。正確な言語学習のために、このテキストでは XHTML の方で説明を進めます。

理屈はさておき、実際に HTML で書かれた物を見ていただきましょう。

```
<HTML>
  <HEAD>
    <TITLE>Hello!! HTML</TITLE>
  </HEAD>
  <BODY >
    <H1>HTML は簡単です</H1>
    <P>いま何しているか分からなくても大丈夫！ </P>
    <P><IMG src="sample.gif" alt="サンプルの写真" /></P>
    <UL>
      <LI>必ず覚えられる。 </LI>
      <LI>ルールが分かれば簡単。 </LI>
    </UL>
  </BODY>
</HTML>
```

いかがでしょうか。ややこしいそうですね。

…実は簡単なルールがあります。

WEB基礎

2011年10月1日 初版発行

著作/制作：株式会社エンプロス

〒672-8051 兵庫県姫路市飾磨区清水 189

URL：<http://www.empros.biz/>

発行所：エフシーエス F C S 出版（富士コンピュータ販売株式会社）

〒675-0031 兵庫県加古川市加古川町北在家 2723

URL：<http://www.fujicomp.co.jp/>

定価：本体 1,500 円（税込）

WEB 基礎